

聖使命会費取扱者となって、“すべての人々を幸福に導く聖使命会”に縁ある方々をおつなげしましょう！

聖使命よろこびの集い

〈取扱者研修会〉

日 時：令和7年 **9月2日**（火）10:00～12:20

ご指導：三浦 晃太郎 教化部長 他

開催形態：生長の家千葉県教化部（大拝殿）で開催
Zoomによる配信も行います。

[ZoomID：851 7046 5395 / パスコード：0531]

テキスト：『新版 菩薩は何を為すべきか』
「聖使命会員の手引き」



参加対象：聖使命会費取扱者

奉納金：300円以上随意（昼食代込み）

「聖使命会員となるよろこび」

宗教というものは、決して病氣治しや個人の繁栄^{はんえい}のために利用されるべきものではありません。ただ本当のおかげ^{おかげ}があらわれるのは、まごころの信仰と報恩感謝の心があらわれたとき、その付属^{ふぞく}としてつけ加えられたものであって^{ちやうど}丁度人間の影が地上にうつっているような、そういう影に他ならないのであります。ですから信仰を手段として利用して、安あがりのおかげをつかみ病氣などを治してもらおうとか、少しだけ寄附^{きふ}をして置いて大いに事業を発展させてもらおうとかと、さもしい事を考えることは全く間違っているのであります。私達の寄附^{きふ}や献金^{けんきん}は、そのようなこととは全然ことなるところの純粋な菩薩行^{じゆんすい ぼさつぎやう}であり、一人でも多くの人々を救いたいという慈悲^{じひ}の発露^{はつろ}でありますから、そこに自からその功德^{おのずからそのくどく}はあまねくゆきわたらざるところなく、一門家族^{いっもんかぞ}の悪業^{あくごう}すらも光^おに遭^あうた暗闇^{くらやみ}のように消滅^{しょうめつ}してしまうのであります。（後略）

『新版 菩薩は何を為すべきか』谷口雅春先生著・谷口清超先生著 128頁より